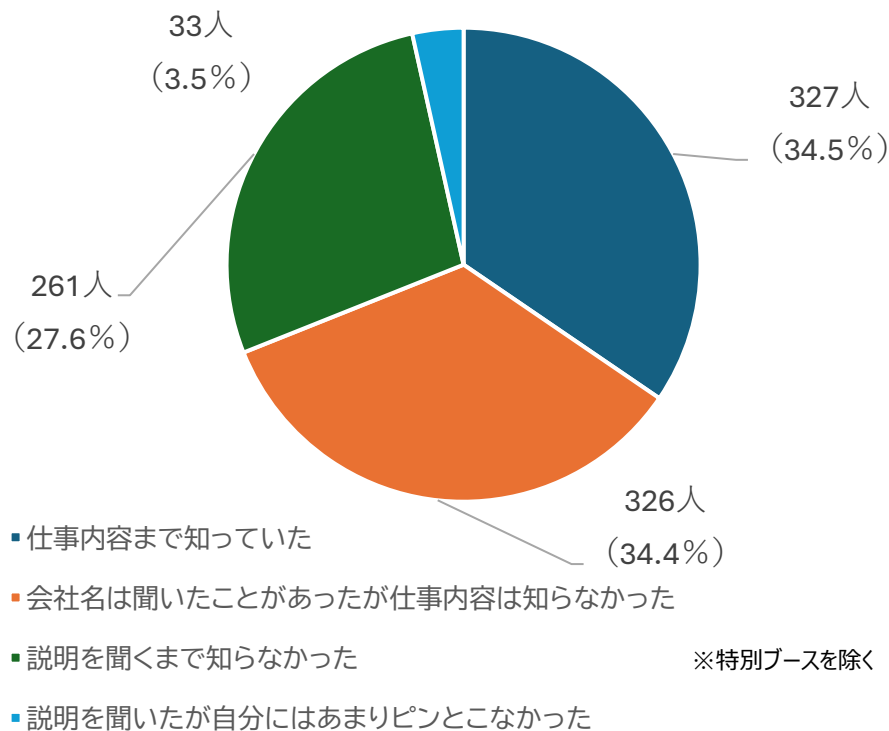


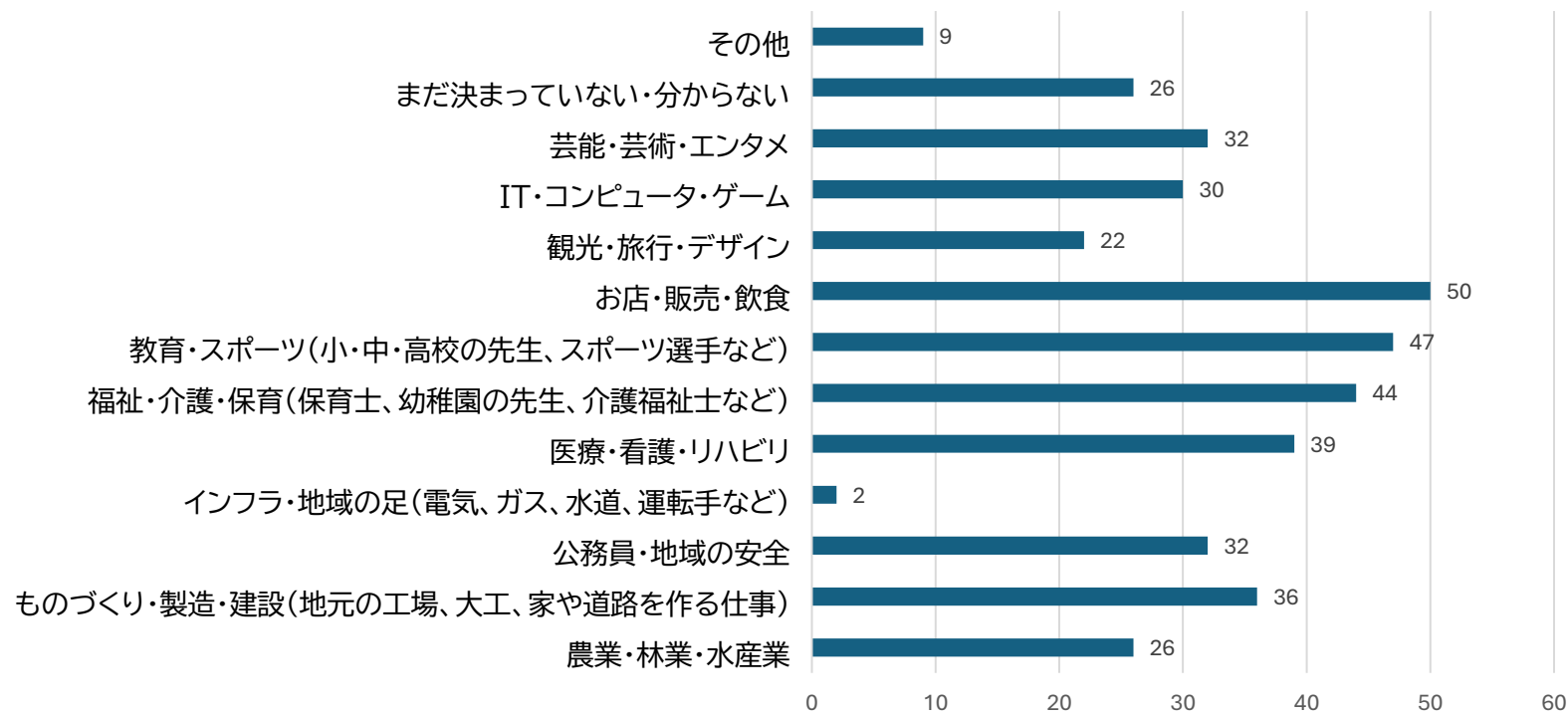
令和8年6月12日に行われた中学生向け合同企業説明会の事後アンケートより

参加した中学生に、説明を聞いた企業等について聞いたところ、約6割が「企業名は聞いたことがあったが、どんな仕事をしているか知らなかった」「説明を聞くまで知らなかった」と答えました。

参加企業等の認知度（延べ人数）



「将来の夢」ややってみたい・興味がある仕事の分野は(複数選択)



日常生活で触れる機会の多い「身近なサービス業」や「教育・スポーツ」「福祉・保育」などの上位を占めており、生活体験に直結する仕事への関心が高いことが分かりました。一方で、インフラ等の社会基盤に関わる分野への認知度や関心は低い傾向にあります。

参加した企業等の感想を一部紹介します

参加した中学生からの質問・反応で印象的だった点は？

- ・市内企業で将来働きたいか？という質問に対して、手が挙がることが少なかったが、西予市に住み続けたいか？という質問に対しては、手が挙げる人が増えたことが印象的だった。
- ・地元企業について知らなかった生徒も多く、説明を聞く中で興味を持ち、積極的な姿勢が見られた。
- ・「仕事をしていて辛いと感じるのはどんな時ですか」との質問は、中学生なりに仕事をする大変さを感じようとしているようで好感を持った。

その他

- ・もっと市内で働くことのイメージがつくように企業側も働きかける必要があると思った。
- ・中学生の若い力に活力をもらえた。地元での就職に繋がれば。
- ・地元企業と中学生が直接交流できる大変有意義な機会であり、将来の進路選択や地元就職への関心を高める良い取り組みだと感じた。

